

悠久

本号の内容

- ①「日中平和友好条約40周年において。」 岡山大学名誉教授 森田 潔
上海交通大学客員教授
- ②日中友好に貢献という夢に向けての第一歩 岡山県立岡山工業高等学校教諭 吉田 絵美
- ③STUDENT EXCHANGE in 上海 2018 日本人生徒感想文

第53号 October 2018

洛陽市洛邑古城「河洛文化祭」



岡山大学名誉教授
上海交通大学客員教授

森田 潔

「日中平和友好条約四十周年において。」

私は、昨年まで岡山大学に勤めておりました。もとより、日本の大学は大きな変換点にあり、大学のグローバル化が叫ばれていた時でもありました。

私自身、二十歳代後半、New Yorkに二年間留学し、この時の何事にも代えがたい経験が、後の私の人生に大きな影響を与え、今の自分があると考えています。学長に任じた時、海外留学生達に、私と同じように、何事にも代えがたい経験ができるよう大学環境を整えること、また、すでに世界各国で活躍している国際同窓生との絆を築くために、世界各地に国際同窓会支部を設置する計画を発表しました。現在、世界中に五十四か所の支部が存在し、活発な交流を続けています。

岡山大学には、現在(二〇一八年四月)七百六十七名の海外留学生が美しいキャンパスで勉学に励んでいます。中国から三百六十九名で、約半数を占めています。岡山大学学生の半数以上が文字どおり、中国(日本の中国地方も含めて)各地から集まる、中国総合大学(戦前、岡山に帝国大学を作るときに予定していた大学名)であります。

かつて、岡山大学の前身である第六高等学校に学んだ著名な中国人、郭沫若は、私も岡山大学の同窓生ともいえる存在であります。中国革命後の一九五五年に学術文化視察団長として日本を訪れた際、第二の故郷として岡山にも立ち寄り、後樂園、第六高等学校跡、岡山大学などを訪問し、その時の心境を書いた書を残して帰りました。その書は現在、岡山大学の学長室に掲げられております。

国どうしの友好は、人の交流があつてこそ始まります。自分の目で見、体で体験してこそ真の理解が深まるところです。日中平和友好条約が結ばれて四十年、多くの方が中国から日本を訪れております。しかし、それに見合うだけ日本から中国を訪問して、半分を上海で生活をしております。私が果たす役割は、多くの日本人が中国を訪問するきっかけを作ることであると思っております。

日中の教育交流が、両国の発展の基礎であることを信じてやみません。



日中友好に貢献という夢に向けての第一歩

岡山県立岡山工業高等学校

吉田 絵美

私は2009年から2011年の2年間を中国で過ごしました。昔から中国に強い思い入れがあったわけではなく、青年海外協力隊の日本語教師として派遣された先が、たまたま中国の湖北省にある中高一貫校だったのです。派遣が決定して、中国語を一から学び始めました。中国という国や人についても、メディアから入ってくる情報でしか当時の私は知識を持ち合わせていませんでした。しかし、中国の田舎町で熱心に日本語を学ぶ生徒たちと出会い、現地の人々とともに生活していくうちに、私の中国文化や中国人に対する理解がだんだんと深まってきました。同時に、私と出会うことで、現地の方々の日本人に対するイメージも良い意味で変わっていったと肌で感じることもありました。今後はなんらかの形で日中友好に貢献

しようという強い気持ちをもって帰国しましたが、その後、日中関係が悪化したこともあり、これといったアクションが起これないまま、月日が流れていきました。『メディアの情報でしか中国を知らないの、自分の目で実際に見て知りたい。』6月30日、第1回の研修会で行った自己紹介の中で、一人の高校生がこう述べました。9年前の自分のように、特に訪中経験のない若い人が中国と出会い、中国人と交流することによって、自分の先入観を乗り越えていってくれるのではないか。そして、中国との縁をその後



上海市第一中学で、生徒らと集合写真

していつてくれるのではないかと。私は引率者として学生たちとの交流を全力でサポートしたいと強く思いました。自分が7年間ずっと先送りになっていた「日中友好に貢献する」というスタートラインにやっと立てた瞬間でした。

上海に着いて2日目、私たちは上海第一中学校を訪問しました。会場へ入るやいなや、早速に「バディ」と呼ばれる互いのホームステイ先の学生と隣同士で座る格好となりましたが、どの学生も堰を切ったかのように英語で楽しそうにお喋りを始め、交流は大変スムーズに進みました。2日間のホームステイは、どの参加者にとっても楽しく充実していたようで、「昨日はバディと〇〇へ行ったよ!」と毎日嬉しそうに報告してくれました。

5日間という短い滞在ではありましたが、この研修は参加者にとっても多くのものをもたらしたのではないかと感じています。一番大きな収穫は、自分の目で中国を見て、交流会やホームステイを通して中国の人たちと生の交流ができたことではないかと思っています。短期間ゆえ表面的なコンタクトとなりましたが、「とっても楽しかった!」という気持ちで帰国できたのなら、私はこの研修の目的が十分達成されたのではないかと考えています。「楽しかった」という

一時的な交流に留まらず、中国との縁を継続していけるこの研修は、非常に意義深いものだと感じています。

今回、このような素晴らしい日中教育交流事業に携わるチャンスをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。とりわけ、岡山県日中教育交流協議会会長の岡本啓様、株式会社アジアコムニケーションズ

を、今やっと踏み出すことができました。本当にありがとうございます。参加者同様、私も結び直した中国との縁を大切にしていきたいと思っています。



蘇州虎丘前で (著者)

う前向きな印象が、参加者である学生たちと中国との新たな関係を作っていくはずだからです。さらに、今後はもてなす側としてホームステイの受け入れや歓迎会が待っています。

代表取締役の松井三平様、小野沙也香様、現地ガイドの龔琳琳様、そして上海第一中学校の教職員の方々の多大なるご尽力があり、有意義で充実した研修を参加者に提供することができました。そして、私は長年の夢であった「日中友好に貢献」への第一歩



上海浦東新区をバックに



STUDENT EXCHANGE in 上海 2018

日本人生徒感想文

岡山工業高等学校3年

景宇治 まゆ

私は中国に行くのは今回が初めてでした。日本に近くて、日本との関わりも多い中国という国をよく知るととてもいい機会でした。私は全体のリーダーを任せられました。初めは私がリーダーで大丈夫なのかと不安でしたが、みんなが頼ってくれ、支えてくれたおかげで最後まで成し遂げられました。

そしていざ上海についてみると、香料の匂い、交通量の多さ、聞こえる中国語、日本との違いを実感すると共に、これからの5日間が充実したものになるだろうという期待もふくらませました。上海はとても発展していて、見るもの触れるものすべてが私に刺激を与えました。私は高校でデザインを学んでいるので、中国のデザインをこの目で見るというのも目的のひとつでした。広告、建物、服、伝統工芸など色々な視点から見て、自分で吸収することが出来ました。上海は古い文化を大切にしつつ、新しいものもたくさん存在する都市だと思いました。

上海第一中学の学生との交流では、日本と中国の文化を理解しました。英語と日本語と中国語が飛び交う不思議で面白い空間でした。ホームステイでは、語りきれないほどの経験と中国の衣食住を存分に体験しました。パディ



生徒代表挨拶

との距離は2日間でぐっと縮まり、たくさん話しました。中国語も少し教えてくれました。この研修で私は中国へのイメージが180度と言つていいほど変わりました。文化や言葉の壁超えて理解し合うことの大切さ、日本と中国の似ている所、違うところ、切れることのない友情を築くことが出来たこと、自分の成長を感じられることもできました。この経験はこれからの人生の糧になると思うし、これからも中国との交流を続けていきたいと思いました。共に過ごしたメンバーのみんなや先生方、家族、上海第一中学の皆さんにも感謝しています。

西大寺高等学校3年
横山 友香

私が今回このプログラムに参加しようと思ったきっかけは、今しかできな



日本文化と中国文化比較紹介

いことを体験して自分の視野を広げる、そして中国に対して持っている固定概念を自分で実際に中国に足を運んで自分自身で感じその固定概念をなくしたいと思ったからです。実際に行動してみると上海は、高層の建物や交通量が多く自分が思っていたよりもずっと都会で圧倒されるながらも豫園など中国の伝統も感じられる街だと思いました。そして初めて中国雑技団を見ましたが、スリルがある技を難なくこなしていくところにアスリートのレベルの高さを感じました。また開演前に後ろに座っていたインド人の方々と仲良くなれてピンデイという赤い丸いシールを貼ってもらい、新鮮で絶対できないようないい経験もできました。

2、3日目の上海市第一中学との交流では、お互い母国語ではない言語での会話はなかなか苦戦しましたがお互い質問をし、徐々にパディのことを知ることができました。そして午後からは限られた時間の中で南京路、モール、田子坊など色々なところに連れて行ってもらい、有意義な時間を過ごせたと共に普段の生活の一部を味わえたような気がしました。

そして上海から2時間のところにある蘇州は上海とはまた違い、より伝統的な中国のような感じがしました。一番驚いたのは、運河を船で渡っているときに運河の近くに住んでいる住民が運河で洗濯物を洗っていたことです。実際見るのは初めてでそういう文化がまだにあるのだと思いました。

5日間を通して今まで知らなかった



クラリネット独奏 (岡山生徒)

ことが沢山あり、驚きの連続で、中国の文化、食文化、生活習慣など色々知れてとても刺激的でいい経験になりました。

そして中国でトイレの順番やレジの並ぶ順番を何度か抜かされたりしましたがそれは中国の文化であり、日本の文化を基準にして物事を考えるのではなく、その国の文化を基準に物事を理解することの大切さを学ぶことができました。

(P.S) コイの味が忘れられません(笑)

西大寺高等学校2年

井上 花菜

私は昔から団体行動や合宿という、個人ではなく誰か他人と長く行動するということが好きではありませんでした。私以外にもたくさんいるでしょう。

好きではなかった理由には多分、リーダーシップをとることが恥ずかしいとか、誰かの言いなりになるのが嫌、人それぞれだと思います。私はただ面倒くさがりだったからです。

だけど関わるのが面倒臭い、外に出るのが面倒くさいじゃあ本当にもったいないと思います。だから私は今回この上海研修に思い切つて応募しました。私一人では、明日にしよう明日にしようと先延ばしにしていたことでしょう。面倒くさがりですから。でも、そんな

時友達と一緒に応募しようと言ってくれました。よく日本人は自律性がないとか1人では恥ずかしがってできないとか評されます。でもそれでもいいと思います。きっかけはどうであれ私は最終的に自分一人でもホームステイをして自分の目だけで見たいものを見て自分の頭と口でコミュニケーションをとることが出来ましたから。だからぜひ応募の段階で面倒くさがらずノリでもいいので応募してみるべきです！

アジコムの方も留学先の方も身の回りの人も、絶対応援してくれるし迎えてくれます！

総社南高等学校2年

岡本 美穂

上海は見上げきれないほどの高層ビルがたくさん立っている大都会にもかかわらず、何百年もの歴史がある建物や公園なども残されているまさに温故知新な街でした。

初日に、豫園という時代劇のセットのような驚くほど美しい庭園を回ったあと上海タワーに登った時は本当に同じ街にある建物だと信じられませんでした。

そしていろんな文化がぎゅつと詰まっている都市でもあります。

街を歩いていると海外の企業のお店がたくさん立っていて上海で揃えられ

ないものはないなと実感しました。街の真ん中に大きなくまもんが立っていた時は感動を覚えました。ニュースなどで度々報じられる反日の姿はそこにはなくむしろみんなくまもんと写真を撮っていたり日本用品を愛用している人が多かったです。

中国は危ない、治安が良くないという話をよく聞きます。

たしかに、そうかもしれません。ですが、地下鉄に乗る際には全員持ち物チェックをされたり至る所に警察官の車があり常に警戒していたりと日本より安全に考慮していました。

実際に見ようともせず、人から聞いた話で目を背けてしまうのは本当にもったいないことだと思います。今回の研修を通して、私はたくさんの刺激をもらうことができたからです。



アコーディオン独奏 (上海生徒)



英語模擬授業

私は中国人で七年間中国のハルビンに住んでいました。そして今は日本に十年住んでいます。なぜ今回の研修に参加したかというと、日本人のグループと一緒に母国を見つめ返したいと思ったからです。ですが、実際参加してみると日本人、中国人に関係なく驚くことがたくさんあり、知らない間に区別をつけていたんだなと気づきました。日本、中国隔たりなく今回の研修で出逢った生徒たちはみんな自分の夢に向かって能動的に英語を磨いていました。その姿を目の当たりにして自分も頑張らなければいけないというやる気に今満ちています。この出会い

と経験を無駄にすることなくこれから繋げていきたいと思っています。

岡山大安寺中等教育学校2年
佐藤 恵

今回、初めてアジアの国を訪ねました。日本では「中国人」の事を批判的にとらえている人も多く、私自身も「中国」に対していいイメージは持っていませんでした。しかし、今回の訪問・交流を通して、中国の特色を感じ、興味深い国だと思ふようになりました。

私が特に興味を持ったのは中国の街並みと人柄でした。上海は日本の東京のように進歩していると感じさせられる所もあれば、大阪のように賑やかな所もあり、京都のように古き良き魅力を感じられる所や、ヨーロッパのような建物が並ぶ街並みも見受けられました。まさに、多文化の融合がなされている国だなと実感しました。ホームステイでは初めての非英語圏での生活という事で不安もありましたが、ホストファミリーはとても優しく、初めての受け入れ経験にも関わらず、快く受け入れてくださいました。ホストマザーは英語も話すことが出来ず、私との会話はホストファミリーやホストシスターを通してのことが多かったですが、「おいしい」や「楽しい」という表現はジェスチャーを使って直接、ホストマザー

に伝えるよう意識していました。2日間の予定をきっちり組んでいたにも関わらず、私が急に「行きたい」と言った場所には連れて行ってくれて、北京ダックの内臓類や血液、皮蛋(卵)、小籠包や中国式の揚げパンと様々な料理を食べさせてもらいました。上海の方

では餃子の包み方が日本と異なることを一緒に作りながら教えてくれたり、最終日には中国のお土産をスーツケース半分埋まるくらいくれたりと、とても優しいホストファミリーでした。

アジア圏は日本と同じような感じだろうと思ひ、留学をしようとは一度も思ったことがなく、北米やオーストラリアの事しか考えていなかった私ですが、このプログラムに参加して、アジアの良さも発見するとともに、日本の差異も多くあり、興味を持つことが出来ました。偏見をなくすという事は私の将来の夢にもつながることでしたし、一緒に行った日本人の仲間も様々な形でインスピレーションを受けました。たった5日間という短い期間でしたが、最高の5日間でした。このような機会を与えてくださった方々、私たちのお世話をしてくださったホストファミリー、添乗員さん、同行された先生を含め、すべての方に感謝し、この経験を将来に必ずつなげていきたいと思ひます。

清心女子高等学校2年
杉岡 由香子

私は上海へ行く前まで、中国には怖いイメージがありました。最近では日本にたくさん中国人観光客が訪れていて、中国に対して興味が湧いていました。そんな中、今回上海に行く機会を持てたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

初日から上海の近代的な街並み、古い街並みを観光することが出来ました。とにかく多くの人がいてとてもにぎわっていました。

初日の中で一番楽しかったのは上海雑技団の鑑賞です。人間の体はここまで出来るのかと感心しました。特にポールダンスと空中ブランコのパフォーマンスが美しかったです。鑑賞後に後席



積極的に発言 (英語授業)

に座っていたインド人の団体の方とお話をしておでこにシールを貼ってもらったことも思い出の一つです。

2日目、3日目の上海市第一中学の子達との交流、ホームステイがとても楽しかったです。実際住んでいる人が教えてくれる上海の街と、観光客でにぎわっている上海の街は違うなど肌で感じる事が出来ました。地下鉄は、イギリスのチューブとよく似ていました。私のバディの家と学校の距離は電車を2回も乗り換えました。しかしもっと乗り換えて登下校をする人も多くいると聞いて驚きました。2日目は晩御飯を早めに食べ終えて上海大学に行って大きなグラウンドで体を思いっきり動かしました。夜になっても小さい子ども達が元気に走り回っているし、お年寄りの方も運動している姿を見て健康意識が高いなと思いました。上海大学のグラウンドに行って運動するの



バディとの昼食

はとてもおすすすめです。家に帰って中国のドラマを2本観ました。私は中国ドラマが大好きなのでおすすすめのドラマを教えてくださいました。3日目は餃子を作りしました。その時に洋楽や邦楽、中国語の歌を聴きました。中国でもテラーズウィフトは人気だと知りました。また、日本のアニメもとても人気でアニメの主題歌を上手に歌ってくれました。

4日目の蘇州観光ではこれまでに見たことのない景色が広がっていて興奮が冷めませんでした。中国のドラマでよく見るような景色できれいですが、古くからずつと建っている建物に住んでいるのは不便だし、危険だと思いました。

この5日間で私は、中国は発展しているからこそ問題が多くあるということも見受けられました。物乞いにお金を要求されることも何回かありました。ごみの量も尋常ではないほど山積みになっていてごみの削減はもっと出来るのではないのかと思いました。衛生面に関してもう少し改善してほしいです。交通量も非常に多く、人よりも車優先されます。電動自転車が普及しているので歩く際は注意を払わないといけません。何回かひやっとすることがありました。

今回の留学で中国に対するイメージはかなり変わりました。とにかく優し

い人が多かったです。次回中国を訪れる時には中国語を喋られるようになっておきたいです。

5日間私たちを支えてくださった松井さん、先生方、本当にありがとうございました。

西大寺高等学校2年 深田 陽菜

まずはじめに、今回の留学に参加することに快く了承してくれた父と母、それに安全な旅をサポートしてくれたアジコムの方々と中国ガイドさんにとっても感謝しています。

私は今回初めての中国でした。中国と聞けば皆さんは一番に何が思いつきますか。きっと日本人の方々はニュースやSNSの情報だけで嫌なイメージを持っている人もいるのではないのでしょうか。ですが私がここで文章で体験してきた事を書いてその考えはなかなか変えることは出来ないと思います。ですので私が言うことはひとつです。とりあえず現地へ行ってみる、そして体感する。絶対に価値観や固定観念も全て変わると思っています。例えば、中国では車やバイクのクラクションがそこらじゅうで鳴り響いています。それだけ聞くと「ああ、治安が悪いんだな。」と大抵の人は思うでしょう。私も到着して1日目はそう思いました。ですが

その場で生活していると私はなんとなく思いました。「あれ？別に危なくないのにさっきの人は何でクラクションを鳴らしたんだろう。」

これは私の勝手な憶測ですが中国では車やバイク、それに歩いている人もいっぱいいます。そうした中で安全に運転するにはクラクションを鳴らして自分が今からその場所を通るという事を周りに知らせているのではないのかなと思えました。こんな事は日本のニュースやテレビでは知ることが出来ません。

まずは行ってみる、そして体感する事を私は強くオススメします！！



日中学生がうらじゃで盛り上がる



岡山商科大学孔子学院

中国語講座

8レベル展開 計18回
※途中からの受講可能

特訓コース

新HSK試験5級をめざす
月・水・金曜日 計90回

出張中国語講座

簡単な日常会話から本格ビジネス中国語まで
対応します。内容は相談に応じて調整いたします。

出張中国文化講座 (開講料無料)

岡山県内の小学校、中学校、高校及び公民館を
対象とした出前中国文化講座を開講いたします。

お問い合わせ／お申し込み 岡山商科大学孔子学院 〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1
TEL 086-256-6670 (直通) FAX 086-255-6947 <http://www.osu.ac.jp/koushi/>



学校法人 中国学園

中国学園大学

- 現代生活学部人間栄養学科 ●子ども学部子ども学科 ●国際教養学部国際教養学科
- 大学院(現代生活学研究科 子ども学研究科)

中国短期大学

- 総合生活学科 ●保育学科 ●情報ビジネス学科 ●専攻科(介護福祉専攻)

〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地 TEL086-293-1100 FAX086-293-3993
<http://www.cjc.ac.jp/> E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

学校法人 加計学園

岡山理科大学附属高等学校

新コース・新クラスと 多様な系であなたの夢を実現します！

【普通科】

- ・グローバルサイエンスコース
- ・総合進学コース
- ・インターナショナルコース
- ・スポーツサイエンスコース

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1

TEL 086-256-8527 FAX 086-256-8526

URL <http://okayama.ridaifu.net/>

☎ 0120-209817

 Benesse

赤ちゃんからお年寄りまで、
ひとりひとりの「よく生きる」のために。

ベネッセグループは、教育 / 語学 / 生活 / シニア・介護の分野でお客様一人ひとりの「Benesse」を
支援する事業を展開しています。 Benesseは、フレン語の bene(よく) と esse(生きる) を一語にした造語です。



株式会社 ベネッセホールディングス 岡山本社 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17 <http://www.benesse-hd.co.jp/>

岡山県日中教育交流協議会 会報『悠久』第53号

発行：平成30年10月／発行者：岡山県日中教育交流協議会 編集委員会
〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階 TEL(086)225-5083/FAX(086)225-5041